

標準委員会セッション (1) 「放射性廃棄物の区分と処分方法を中心とした用語・呼称に関するトピカル・レポートの検討状況」

放射性廃棄物の区分・処分方法等の用語・呼称の整理 (中間まとめ)

Clarification of terms and common names for radioactive waste categories and disposal options, etc.

原環センター 山本 正史
YAMAMOTO MASAFUMI

(抄録) 日本原子力学会標準委員会では、原子燃料サイクル専門部会に放射性廃棄物の用語・呼称検討タスクを設け、放射性廃棄物の分類・区分及び処分方法等の正確かつ分かりやすい統一用語・呼称についての検討を実施している。本検討の中間とりまとめ状況について報告する。

キーワード：放射性廃棄物，分類，処理処分，用語

1. 緒言

放射性廃棄物の処理処分方策の検討及び社会一般の理解促進は、正確かつ分かりやすい統一用語・呼称に基づいて行われることが望ましい。現在のところ、そのような用語・呼称に関する整理が必ずしも十分には行われていないとの認識から、放射性廃棄物関連の標準化を使命とする日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会としての提案を、当面トピカル・レポートとしてとりまとめるための検討が進められつつある。

2. 放射性廃棄物の用語・呼称検討タスクの中間報告

放射性廃棄物の用語・呼称検討タスクの主要検討範囲は、固体状の放射性廃棄物（処理の結果固体状となるものを含む。）及びその陸地処分に関する用語である。放射性廃棄物を分類・区分する考え方は、おおむね「廃棄物の取扱性（処理，輸送等）」、「発生施設」，「処分方法」，「廃棄物形態」の4つに集約される。一方、放射性廃棄物の陸地処分方法は、処分の深さや処分施設（人工構造物）の施設形態等によって分類されている。国内外の文献，資料等より、放射性廃棄物の区分及び処分方法に関する用語・呼称の実態を調査し、今後提案すべき呼称案を現在論議しているところである。呼称案の中間的まとめの要点を表1に示す。

表1 放射性廃棄物の区分・処分方法と呼称案 (中間まとめ)

放射能レベル	対象廃棄物の例	放射性廃棄物の呼称案 (略称案)	処分方法	放射性廃棄物の処分方法の呼称案 (略称案)
高レベル	「使用済燃料の再処理後に残存するものを固化したもの」 1	高レベル廃棄物 (呼称案と同じ)	地層処分 (特定放射性廃棄物の場合，地下300m以深の地層への処分)	地層処分 (呼称案と同じ)
低レベル	例えば，「特定の核種濃度がある一定濃度を超える廃棄物」 2	地層処分型 低レベル廃棄物 (低レベルDクラス)		
	炉規制法施行令第13条の9，第1項の濃度を超え，第2項の濃度を超えないもの 3	余裕深度処分型 低レベル廃棄物 (低レベルCクラス)	一般的な地下利用に対して十分余裕を持った深度への処分	地下利用以深の地中処分 (余裕深度処分)
	炉規制法施行令第13条の9，第1項表1，2の対象廃棄物 3	浅地中ピット処分型 低レベル廃棄物 (低レベルBクラス)	コンクリートピットを設けた浅地中への埋設処分	浅地中コンクリートピット処分 (浅地中ピット処分)
	炉規制法施行令第13条の9，第1項表3，4の対象廃棄物 3	浅地中トレンチ処分型 低レベル廃棄物 (低レベルAクラス)	人工構造物を設けない浅地中への埋設処分	浅地中トレンチ処分 (呼称案と同じ)

- 1；特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律
- 2；原子力安全委員会等で検討中
- 3；原子炉施設から発生する廃棄物のみ法制化済み

3. 結言

本検討は、単なる用語検討にとどまらず、廃棄物の発生から最終処分までの全体の理解にも資することをねらいとしており、放射性廃棄物処理処分の全般的な体系の解説も合わせて作成することとしている。今後、各種の機会を利用して、タスク外部の関係者等からの意見などを広く聴取し、これらをも考慮・検討した上で、最終的な提案をトピカル・レポートとしてとりまとめることとしている。